



第11回平和首長会議 国内加盟都市会議総会 報告書

令和5年（2023年）10月18日～19日

主催：平和首長会議、広島市、長崎市

開催都市：姫路市



芦屋市

～ 目 次 ～

はじめに	1
1 第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会への参加について	2
2 平和首長会議とは	3
3 平和首長会議の取組	4
別紙：チラシ（プログラム）	5
別紙：資料1 「【参考】メンバーシップ納付金の納付状況について」	6
別紙：資料2 「核兵器廃絶に向けた取組の推進について（要請）」	7
別紙：資料3 「基礎自治体の平和文化振興に対する地方財政措置について（要望）」	8
別紙：資料4 「第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書」	9
別紙：資料5 「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（PXビジョン）及び平和首長会議行動計画（2021年～2025年）の概要図」	10

はじめに

今年10月18日、19日の2日間、姫路市で「第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会」が開催されました。戦後78年を迎え、80年を目前にしている中で、私は、私自身を含む20代、そして、さらに若い未来世代へ戦争の悲惨さ、平和の尊さを継承していくことへの思いを新たに、今回の平和首長会議に参加しました。

総会では、姫路市プログラム「ピース フロム ひめじ」として、姫路市の平和への取組発表、姫路空襲体験談、平和教育の取組発表、平和作文の朗読などが行われました。特に、姫路空襲体験談は、戦争を知らない世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝える上で、大変貴重なお話でした。空襲を体験された方から直接体験談を聴ける世代も私たちが最後かもしれない。だからこそ、未来世代に継承していくことが必要だと改めて実感しました。平和教育の取組発表、平和作文の朗読では、世界の平和を願う子どもたちの想いに触れ、命の大切さを再認識しました。

また、その他の加盟都市の取組についての情報交換、国内における平和首長会議の取組についての協議・意見交換等が行われました。そのほか、核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請文の提出及び基礎自治体の平和文化振興に対する地方財政措置についての総務省に対する要望書の提出について、審議・決定を行い、最後に、第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書を採択しました。

今、世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによるガザ地区侵攻により、多くの人々が犠牲になる中、国際社会の平和と秩序、安全が脅かされています。世界の恒久平和を実現するため、平和首長会議では、「PXビジョン（持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン）」に基づいた様々な取組・計画が進められています。この中にあります市民社会における平和意識の醸成、次代の平和活動を担う青少年の育成などは、今ある平和を未来につなげていく上で大変重要であると考えます。

本市では、平和首長会議の提唱する活動を受けて、これまで市が長年積み上げてきた事業を実施することで、幅広い世代の市民の方々が日常生活の中で平和について考え、声を上げていただくなど、本市から世界へ、平和の思いをつなげていきたいと考えております。今後も、引き続き戦争の悲惨さと平和の尊さについて、特に若い世代へ継承できるよう取り組みを進めてまいります。

令和5年（2023年）11月

芦屋市長 高島 峻輔

1 第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会への参加について

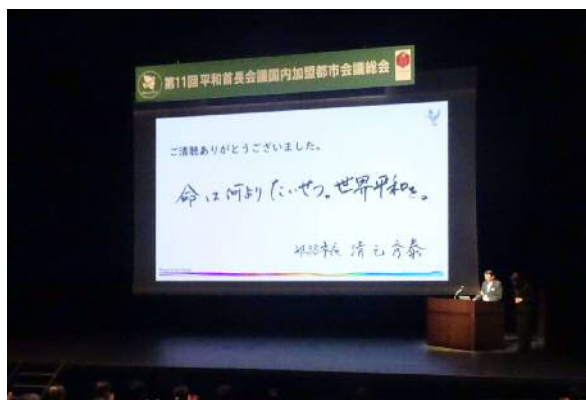
- (1) 期 間
令和5年(2023年)10月18日(水)、19日(木)
- (2) 会 場
アクリエひめじ 中ホール・4階会議室(姫路市)
- (3) テーマ
「ピース フロム 姫路」
- (4) 出席者数
国内加盟都市:85都市135人(うち首長33人)
- (5) 内 容
※ 別紙「チラシ(プログラム)」をご覧ください。



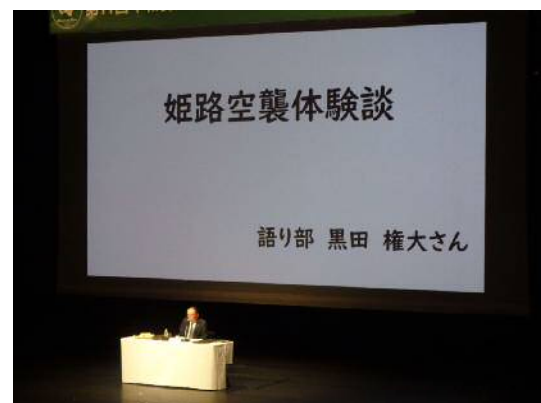
展示会場にて(写真上下)

ア 10月18日(水)

- ・オープニング ・開会あいさつ
- ・姫路市プロモーション動画「ひめじかん」上映
- ・姫路市の平和への取組発表
- ・姫路空襲体験談(黒田権大さん)
- ・平和教育の取組発表 ・平和作文の朗読
- ・中高生による「交響詩ひめじ第4章栄光の世紀へ」の合唱 ・黙想
- ・会場展示



姫路市の平和への取組発表



姫路空襲体験談

イ 10月19日(木)

- ・総会 ビデオメッセージ上映(ブラジル・クリチーバ市長)
- ・会議Ⅰ 平和に関する取組事例の報告(世田谷区、藤沢市、北九州市、英国・マンチェスター市)

- ・会議Ⅱ 報告：平和首長会議メンバーシップ納付金令和4年度決算について
第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催都市について
(令和6年度は、東京都武蔵野市で開催)
議案の審議：核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請について
(日本政府に対する要請文の提出を決定)
基礎自治体の平和文化振興に対する地方財政措置について
(総務省に対する要望書の提出を決定)
- ・会議Ⅲ 第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書の採択

※総会関係は、別紙「資料1～4」をご覧ください。



総会の様子（2日目）

2 平和首長会議とは

昭和20年（1945年）8月、広島・長崎両市は原子爆弾により一瞬にして廃虚と化し、両市合わせて21万人を超える多くの人々の尊い命が奪われました。原子爆弾は、その投下から75年以上が経過した現在でも、放射線による後障害や精神的な苦しみを生き残った市民に残しています。被爆者の「こんな思いを他の誰にもさせてはならない」という切なる思いを世界の人々に広げ、次の世代にも受け継いでいくために、広島・長崎両市は一貫して世界に核兵器の非人道性を訴え、その廃絶を求め続けてきました。

昭和57年（1982年）6月24日、荒木武 広島市長（当時）は、米国・ニューヨーク市の国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、世界の都市に国境を越えて連帯し、共に核兵器廃絶への道を切り開こうと呼び掛けました。また、広島・長崎両市は、この呼び掛けに賛同する都市（自治体）で構成する機構として、世界平和連帯都市市長会議（現・平和首長会議）を設立しました。平成3年（1991年）には、国連経済社会理事会のNGOに登録されています。

※ 平成13年（2001年）8月5日、「世界平和連帯都市市長会議」から「平和市長会議」に、平成25年（2013年）8月6日に「平和首長会議（へいわしゅちょうかいぎ）」に名称変更しました。

※ 芦屋市は、平成23年（2011年）に平和市長会議に加盟しました。

【加盟都市数（令和5年11月1日現在）】

166 か国・地域

8,321 都市（うち国内 1,739 都市）

エリア名	国・地域数	加盟都市数
アジア	39	3,322
オセアニア	9	137
アフリカ	49	438
ヨーロッパ	41	3,341
北アメリカ	3	341
ラテンアメリカ・カリブ海地域	25	742

3 平和首長会議の取組

令和3年（2021年）より、「2020 ビジョン（核兵器廃絶のための緊急行動）」にかわって、「PX ビジョン（持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン）」及び「平和首長会議行動計画（2021年から2025年）」による取組を進めています。

(1) PX ビジョンについて

平和首長会議では、核兵器を廃絶し、人類の共存が持続可能となることにより、あらゆる人が永続的に平和を享受できる世界、すなわち「世界恒久平和」を実現するため、市民が連帯する都市を創造するとの観点から、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン—都市による軍縮と人類共通の安全保障に向けた平和構築—」を2021年7月に策定しました。

目 標

- A 核兵器のない世界の実現
- B 安全で活力のある都市の実現
- C 平和文化の振興

平和首長会議の
ホームページ
二次元コード→



※ 具体的な行動計画等については、別紙「資料5」をご覧ください。

※ 詳細は平和首長会議のホームページをご覧ください。（上記の二次元コードを読み込んでください。）

(2) 今後の取組

継続して、平和首長会議の提唱している下記の取組を進めてまいります。

- ア 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動
- イ 平和首長会議原爆ポスター展の開催
- ウ 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト入賞作品の紹介
- エ 被爆樹木アオギリ二世の市民への周知啓発
- オ 平和首長会議総会への出席



姫路城
世界遺産登録
30周年記念

第11回 平和首長会議 国内加盟都市会議総会



日程 2023年 10月18(水)日・19(木)日

会場 アクリエひめじ

(〒670-0836 兵庫県姫路市神屋町143-2)

18日: 中ホール / 14時30分～

19日: 4階会議室 407・408 / 9時30分～

定員 18日 100名 19日 30名 (当日先着順)

参加費 無料 開催都市 姫路市

主催 平和首長会議、広島市、長崎市



姫路市
HELLO KITTY

全国の民間人空爆犠牲者を追悼する「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔」を有する姫路市は、我が国と世界の平和を願い、昭和32年7月22日に平和都市宣言を、昭和60年3月6日に非核平和都市宣言を行いました。また、平成21年9月1日からは、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を目指す「平和首長会議」に加盟しています。

このたび、兵庫県内で初めて、平和首長会議国内加盟都市会議総会を開催します。そこでは、本市の平和への取組を広くPRするとともに、核兵器のない平和な未来の創造に向けた今後の取組について議論を行います。

会議は、どなたでも傍聴できますので、ぜひ会場のアクリエひめじへお越しください。

プログラム

※内容は変更になる可能性があります ※手話通訳あり

10月18日(水)

14:30～ オープニング
姫路市立城西小学校マーチングバンド

14:40～ 開会あいさつ
平和首長会議会長(広島市長)
姫路市長
姫路市議会議長

14:55～ 姫路市プロモーション動画上映

15:00～ 姫路市の平和への取組発表
姫路市長

15:30～ 姫路空襲体験談
黒田 権大氏
姫路市平和資料館や学校で、語り部の活動をされてきた黒田権大さんに、姫路空襲の体験談をお話していただきます。



16:25～ 平和教育の取組発表
姫路市立山陽中学校放送部

16:45～ 平和作文の朗読
児童・生徒が書いた、平和をテーマにした作文の朗読を行います。

17:00～ 中高生による「交響詩ひめじ 第4章 栄光の世紀へ」の合唱(作曲者ビデオメッセージ)
兵庫県立姫路西高等学校 音楽部
姫路女学院高等学校 コーラス部
姫路市立灘中学校 コーラス部
姫路市立広額中学校 コーラス部
第4章「栄光の世紀へ」は、未来へ歩み出す若者への希望、平和を願うメッセージが込められています。冒頭に、作曲者の池辺晋一郎氏からのビデオメッセージを上映します

17:20～ 黙想

10月19日(木)

9:30～11:45 加盟都市による平和に関する取組事例の報告
平和首長会議の取組報告
核兵器廃絶に向けた要請文の採択 など

会場展示

10月18日(水)

10月19日(木)

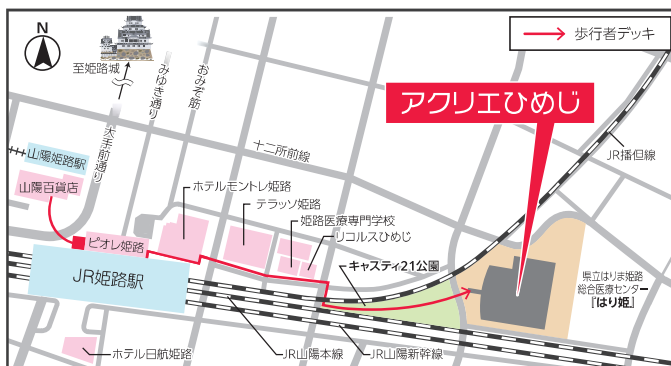
13:30～17:30

9:30～12:00

アクリエひめじ
中ホール

アクリエひめじ
会議室 407・408

- (一財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会
- 空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会
- 市内児童・生徒の平和作品展示
 - ①社会科作品(中学生)
 - ②非核平和展ポスター(小・中学生)
 - ③千羽鶴、平和メッセージ(中学生)
- 平和首長会議
 - ①原爆平和展
 - ②加盟都市による展示 など



平和首長会議
公式 Web サイト



平和首長会議
公式 X(旧 Twitter)



平和首長会議
公式 Facebook



問合せ先

姫路市政策局企画政策室 TEL: 079-221-2206
URL: <https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000024450.html>

第11回 平和首長会議国内加盟都市会議総会 「ピースフォーラム 姫路」

日時：2023年10月18日(水)
14時30分～

場所：アクリエひめじ 中ホール

※時間は目安です

14:30～

オープニング

姫路市立城西小学校マーチングバンド

私たちの学校は、世界遺産姫路城の西側に位置し、校舎の窓からは姫路城を望むことができる素晴らしい環境にあります。マーチングバンドは1989年(平成元年)姫路市制100周年を記念して創部した歴史あるバンドです。学校行事のほか、姫路城マラソンや姫路お城まつりなどのイベントにも数多く出演しており、私たちの演奏演技でたくさんの方々に元気や笑顔を届けることを喜びに活動しています。今日は3年生から6年生までのメンバーで、やってまいりました。まだまだ未熟な演奏演技ではありますが、精一杯頑張りますので、どうぞお聴きください。

14:40～

開会あいさつ

平和首長会議会長(広島市長)・・・松井 一實
姫路市長・・・清元 秀泰
姫路市議会議員・・・三輪 敏之

14:55～

姫路市プロモーション動画「ひめじかん」上映

15:00～

姫路市の平和への取組発表

姫路市長

15:30～

姫路空襲体験談

黒田 権大さん

長年、姫路空襲での体験を、語り部として伝承されている黒田権大さんによる姫路空襲体験談です。現在94歳の黒田さんの活動は通算300回を超えており、毎年、姫路市平和資料館や近隣の学校での語り部活動を通して戦争を知らない世代に戦争の悲惨さ平和の尊さを伝えてくださっています。

16:25～

平和教育の取組発表

姫路市立山陽中学校放送部

私たち姫路市立山陽中学校は、姫路空襲で焼け野原となった姫路中心部に位置し、校舎の西側には手柄山中央公園山頂に立つ太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔があります。毎年、慰霊塔前で行われる追悼平和祈念式に参加し、全校生徒で作成した千羽鶴を奉納しています。また、校区に居住される黒田権大さんとの対談、質問コーナーを企画、運営し平和を学んでいます。本日は、私たちが取り組む平和学習の一部を紹介します。

16:45～

平和作文の朗読

- ① 第41回全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会 兵庫県教育委員会賞 受賞
「奇跡の命」 兵庫県立姫路東高等学校 三門 ゆんさん
ベトナム人である親が日本に来た理由はベトナム難民であったからだと知り、「命」とは何か改めて考え、世界の平和を願う作文です。
※作文は中学3年生の時に作成したものです。
- ② (一財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会主催
「子ども平和フォーラム」
姫路市立手柄小学校 岡田 朔哉さん
姫路市立手柄小学校 須々木 遥さん
夏休みに、NPO 法人 ANT-Hiroshima 理事長 渡部朋子さんを招き、小学校6年生を対象にした「子ども平和フォーラム」が姫路市平和資料館で実施されました。参加した児童がそのフォーラムで書いた作文を朗読します。

17:00～

中高生による「交響詩ひめじ 第4章 栄光の世紀へ」の合唱 (作曲者ビデオメッセージ)

兵庫県立姫路西高等学校 音楽部
姫路女学院高等学校 コーラス部
姫路市立灘中学校 コーラス部
姫路市立広嶺中学校 コーラス部

1989年、姫路市制100周年を記念し、市民の間で未永く愛され親しまれるふるさと讃歌として「交響詩ひめじ」が制作されました。「交響詩ひめじ」は、合唱組曲の形を採用しています。作詩は地元を熟知されている歌人の川口汐子さんに、作曲は日本を代表する作曲家である池辺晋一郎さんに依頼しました。今回合唱する第4章「栄光の世紀へ」は、未来へ歩み出す若者への希望、平和を願うメッセージが込められています。

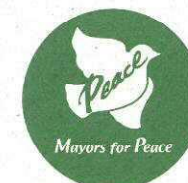
17:20～

黙想

会場展示

- (一財)太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会
- 空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会
- 平和首長会議
 - ① 原爆平和展
 - ② 加盟都市による展示 など
- 市内児童・生徒の平和作品展示
 - ① 社会科作品(中学生)
 - ② 非核平和展ポスター(小・中学生)
 - ③ 千羽鶴、平和メッセージ(中学生)

16 平和と公正を
すべての人に



平和首長会議

平和首長会議
公式 Web サイト



平和首長会議
公式 X(旧Twitter)



平和首長会議
公式 Facebook



非核平和都市宣言

青い空、清らかな水、豊かな緑を保ち、明るく平和な生活を守ることは、平和を愛する姫路市民の願いである。

しかるに、最近の世界情勢をみると、核軍備拡大競争が依然として続けられ、地球上の生命そのものが深刻な脅威にさらされていることは、世界の人々のひとしく憂えるところである。

姫路市は、平和憲法の本質にのっとり、核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませぬの「非核三原則」を将来とも遵守し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成を目指し、ここに「非核平和都市」とすることを宣言する。

非核平和都市宣言 昭和 60年(1985年)3月6日



姫路市キャラクター しろまるひめ

【参考】メンバーシップ納付金の納付状況について

1 令和4年度の納付状況

(1) 納付率

平和首長会議では、毎年、加盟都市に対し、1都市当たり2,000円のメンバーシップ納付金を納付していただくよう請求している。令和4年度については、国内の全加盟都市1,737都市のうち、納付免除（日本非核宣言自治体協議会（以下「非核協」という。）会員又は年度内の平和首長会議新規加盟都市）となる346都市を除いた1,391都市に請求した結果、納付があった都市は1,118都市であり、納付率は80.4%であった。

$$\frac{\text{納付都市数（1,118都市）}}{\text{全加盟都市数（1,737都市）} - \text{納付免除都市数（346都市）}} = 80.4\%$$

(2) 未納の都市

273都市が未納であったが、その理由について申し出のあったものは、そのうちの162都市であった。

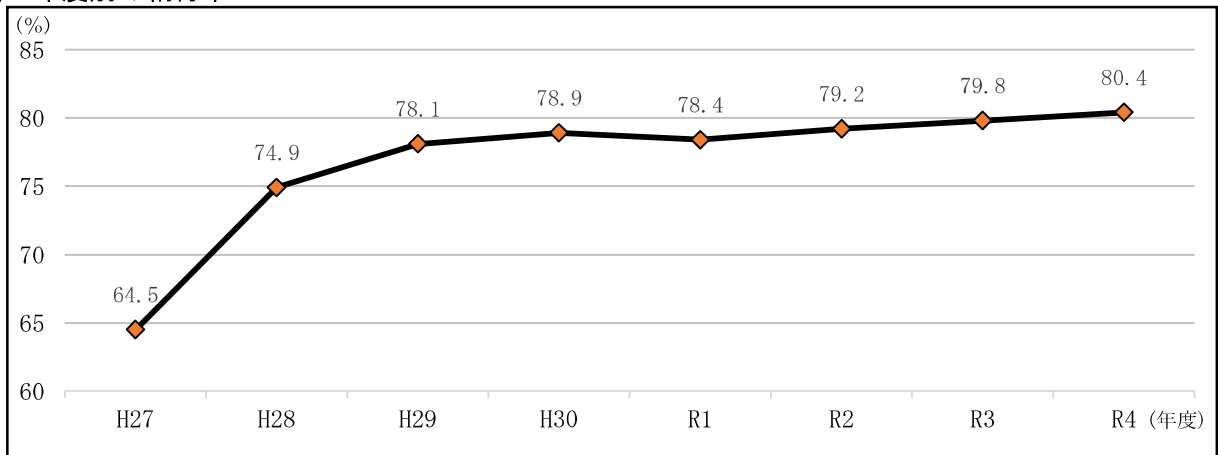
参考

(1) 加盟時期別の納付状況

（単位：都市）

加盟時期	加盟都市数	納付免除 (非核協会員 +新規加盟)	請求対象	納付都市	未納		納付都市 請求対象
					申出有	申出無	
納付金導入前 (平成26年度以前)	1,542	335	1,207	957	151	99	79.3%
納付金導入後 (平成27年度以降)	195	11	184	161	11	12	87.5%
合計	1,737	346	1,391	1,118	162	111	80.4%

(2) 年度別の納付率



内閣総理大臣 岸田 文雄 様

核兵器廃絶に向けた取組の推進について（要請）

平和首長会議では、「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称：PXビジョン）の下で、「核兵器のない世界の実現」、「安全で活力のある都市の実現」、「平和文化の振興」を目標に掲げ、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指した取組を行っています。

こうした取組を進める中で、その加盟都市数は着実に増えており、現在世界166か国・地域の8,311都市が加盟し、日本国内の加盟都市は全市区町村の99.9%に当たる1,739都市に達しています。こうした中、第11回目となる平和首長会議国内加盟都市会議総会を10月18日及び19日に兵庫県姫路市で開催しました。

核兵器をめぐるのは、本年5月に開催されたG7広島サミットにおいて、核保有国を含む各国首脳が平和記念資料館の視察や被爆者との対話を通じて被爆の実相に触れた上で「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発出され、核兵器のない世界の実現が究極の目標であることを再確認しつつも、核兵器が存在している間は自国の安全を守るために核の抑止力による安全保障政策をとるとの考え方が示されました。

しかし、核による威嚇を行う為政者がいるという現実を踏まえるならば、核抑止論は破綻していることを直視すべきです。核保有国と核の傘の下にいる国々は、核抑止力に依存する安全保障政策から脱却し、世界中の為政者とともに究極の目標である核兵器廃絶に向けた具体的な行動に取り組んでいく必要があると考えています。

そのためにも、平和首長会議は、市民社会にあらゆる暴力を否定する「平和文化」を根付かせることにより、世界的な規模で平和意識を醸成し、為政者に核抑止力に依存することなく対話を通じた外交政策を行うよう促す環境づくりを推進していきます。

唯一の戦争被爆国である日本政府には、平均年齢が85歳を超えた被爆者を始めとする平和を願う国民の思いをしっかりと受け止め、核保有国と非核保有国との分断を解消するため、ヒロシマ・ナガサキの被爆体験が示している核兵器が人類に及ぼした壊滅的な結果をあらゆる核兵器廃絶に向けた努力の基礎とすべきことを改めて認識した上で、議論の共通基盤を形成するための役割を果たしていただくよう要請します。あわせて、本年11月に開催される核兵器禁止条約第2回締約国会議にオブザーバー参加し、条約締約国等の声も受け止めた上で、核兵器廃絶のために力を尽くしていただくとともに、一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准していただくよう強く要請いたします。

令和5年（2023年）10月19日

平和首長会議国内加盟都市会議

代表 平和首長会議会長 広島市長 松井 一實
平和首長会議副会長 長崎市長 鈴木 史朗
第11回国内加盟都市会議総会開催地市長 姫路市長 清元 秀泰

総務大臣 鈴木 淳司 様

基礎自治体の平和文化振興に対する地方財政措置について（要望）

我が国は、戦後一貫して平和の構築を国是としてまいりました。ウクライナ情勢が緊迫化し、核兵器による人類存続の不安が広がる今、改めて我が国は平和国家としての立ち位置を明確にし、世界平和に貢献していくことが強く求められています。

このような国家を支える基礎自治体により構成されている平和首長会議では、令和3年（2021年）に策定した「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」（略称：PXビジョン）において、「あらゆる暴力を否定する『平和文化』の振興は、市民に最も身近な基礎自治体の首長により構成される平和首長会議が今後果たしていくべき最も重要な役割である。」と位置付けています。

基礎自治体の多くは平和文化の取組を継続して進めていますが、現在戦争体験者や被爆者は高齢化し、事業への参画自体が難しくなりつつあります。これに伴って、「若い世代」の平和意識を高め、担い手を確保する取組に注力することは喫緊の課題です。また、未実施団体を含む全ての団体での取組も求められます。

そして、本年5月のG7広島サミットでは、議長である岸田総理大臣から、「世界の80億の民が全員、『広島市民』となった時、この地球上から、核兵器はなくなるでしょう。」との発言があったとおり、「核兵器のない世界」の実現に向け、改めて国内・外の市民社会における平和文化の振興が緊急の課題となっています。

以上により、今こそ国内の全域で、さらなる「平和文化の振興」に取り組んでいかなければならない重要な時期を迎えているといえます。

平和首長会議としては、連帯して、被爆地における子どもたちの受入プログラムの拡充、各基礎自治体への被爆体験伝承者等の派遣（国制度）、好事例の発信の具体化、集合研修やウェブ研修の新設・充実など、基礎自治体の課題とニーズに沿って、着実に後押しすることとしています。

しかしながら、上記の被爆地派遣や各基礎自治体での取組などの実施に当たっては、全ての基礎自治体が取組を進めることを目指す以上、財源確保が大きな課題となります。

つきましては、厳しい国際安全保障環境の下、「核兵器のない世界」に向けて、国内の全ての地域で平和文化を確実に根付かせていくために、各基礎自治体の自主的な取組に要する経費に対して必要な地方財政措置を講じていただきますよう、平和首長会議の総意として、格別の御配慮をお願いいたします。

令和5年（2023年）10月19日

平和首長会議国内加盟都市会議

代表 平和首長会議会長 広島市長 松井 一實
平和首長会議副会長 長崎市長 鈴木 史朗
第11回国内加盟都市会議総会開催地市長 姫路市長 清元 秀泰

第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会総括文書

平和首長会議は、昭和57年（1982年）の設立以来、世界の都市と連帯し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え続けてきた。平和首長会議には、現在世界の166の国・地域から8,311の都市が加盟しており、その数は増加の一途をたどっている。そのうち、日本国内の加盟都市は全市区町村の99.9%に当たる1,739に達しており、第11回目となる平和首長会議国内加盟都市会議総会を令和5年（2023年）10月18日及び19日の2日間兵庫県姫路市で開催した。

初日は、姫路市プログラム「ピース フロム ひめじ」として、姫路市立城西小学校マーチングバンドによる演奏、姫路市プロモーション動画上映、姫路市の平和への取組発表、姫路空襲体験談講話、平和教育の取組発表、平和作文の朗読、中高生による「交響詩ひめじ第4章栄光の世紀へ」の合唱、黙想等が行われた。

2日目は、まず世田谷区長、藤沢市副市長、北九州市平和のまちミュージアム館長及び英国・マンチェスター市長から平和に関する取組事例の報告を受けた。

続いて、核兵器廃絶に向けた日本政府に対する要請文の提出について審議・決定した。

また、加盟都市へのアンケートに基づき、平和首長会議としての各都市に対する「6項目の支援方策」について事務局から説明を行った。さらに、それを受けて、基礎自治体の平和文化振興に対する地方財政措置に関する要望文の提出について審議・決定した。

以上のことに加え、次の事項について事務局から報告を行った。

- ① 平和首長会議メンバーシップ納付金令和4年度決算について
- ② 第12回平和首長会議国内加盟都市会議総会の開催都市について

平和首長会議メンバーシップ納付金については、納付率の向上に取り組んでいくことを確認した。

最後に、私たちは、核兵器を廃絶し、戦争のない平和な世界を実現するため、加盟都市を着実に拡大し、共に行動していくことをここに宣言する。

令和5年（2023年）10月19日
第11回平和首長会議国内加盟都市会議総会

持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン（P×ビジョン）及び
平和首長会議行動計画（2021年－2025年）の概要図

別紙：資料5

世界恒久平和

ビジョン

行動計画

A 核兵器のない世界の実現

1 被爆者の思いの共有

- (1) 核保有国及びその同盟国を巻き込んだ核兵器禁止条約の批准国拡大の促進
- ① 核兵器禁止条約の批准国の拡大に向けた公開書簡の発出
 - ② 核保有国及びその同盟国の加盟都市による自国政府の早期締結を求める要請活動の展開
- (2) 国連・各国政府への核兵器廃絶に向けた要請・働き掛け
- ① 核軍縮に関する国際会議での要請活動の展開
 - ② 核兵器廃絶に向けた公開書簡の発出
 - ③ 加盟都市による自国政府への核兵器廃絶に向けた貢献を求める要請活動の展開
- (3) 幅広い層の市民による為政者の政策転換に向けた働き掛け
- ① 「核兵器禁止条約」の早期締結を求める署名活動の展開

B 安全で活力のある都市の実現

2 持続可能な地球・社会への貢献
－SDGsの遂行－

- (1) テロ、難民、環境破壊、多様性と包摂性の軽視等の諸問題への地域ごとの取組の推進
- ① 「誰一人取り残さない」まちづくりの推進
 - ② 地域特有の課題の解決に向けた地域会議の開催

C 平和文化の振興

3 国際世論の醸成・拡大

- (1) 市民社会における平和意識の醸成
- A・B ① 芸術やスポーツ等を通じた啓発イベントの開催
 - ② 平和文化を振興する活動を行っている市民との連携
 - A ③ 核兵器を巡る世界情勢に関する啓発の推進
 - ④ 平和構築の方法論に関する研究成果の発信
 - B ⑤ SDGsの達成に向けた気運の醸成を図るイベントの開催
- (2) 被爆や戦禍の実相の発信・共有
- A ① 平和首長会議原爆ポスター展の開催
 - ② 被爆体験講話の聴講を通じた被爆体験の継承
 - ③ 被爆樹木の種や二世の苗木の配付・育成
 - B ④ 戦禍の実相を伝える啓発イベントの開催
 - ⑤ 戦争体験証言の聴講を通じた戦争体験の継承
- (3) 次代の平和活動を担う青少年の育成
- A・B ① 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト等を通じた平和教育の充実
 - ② 平和・軍縮教育の普及
 - A ③ 青少年「平和と交流」支援事業等の被爆地での受入プログラムの充実
 - ④ 核軍縮に関する国際会議への青少年の派遣
 - ⑤ 「広島・長崎講座」の開設に向けた協力
- A・B 「核兵器のない世界の実現」及び「安全で活力のある都市の実現」に向けた取組
 - A 「核兵器のない世界の実現」に向けた取組
 - B 「安全で活力のある都市の実現」に向けた取組

4 持続可能な組織づくりの推進

- (1) 加盟都市の拡大
- ① 好事例を活用した地域ごとの加盟要請の強化
- (2) 加盟都市における活動の充実
- ① 加盟都市の取組好事例の収集・共有
 - ② リーダー都市による管轄地域内の活動の活性化
- (3) 多様な主体との連携
- ① 全米市長会議、英国非核自治体協会、都市・自治体連合等の自治体組織との連携
 - ② 国連、赤十字国際委員会、ICAN等の国際的な機関やNGOとの連携
 - ③ 広島市立大学広島平和研究所や長崎大学核兵器廃絶研究センター等の国際的な平和研究機関との連携強化
 - ④ 被爆や戦禍の実相を伝える世界の博物館との連携
- (4) 事務局機能の充実
- ① 地域支部の充実と事務局との連携強化
 - ② 平和首長会議インターンシップによる加盟都市との連携強化
 - ③ ソーシャルメディアの活用等による情報発信の強化
 - ④ 多くの賛同者から支援を得るための広報活動の推進
- (5) 財政基盤の充実
- ① メンバーシップ納付金の収納率の向上
 - ② 多くの賛同者からの資金調達に向けた検討